

がん化学療法プロトコール

氏名: _____
 ID: _____
 体表面積: _____ m² 体重: _____ kg

プロトコール名 **IRIS/ペバシズマブ**
 対象疾患 結腸・直腸がん
 診療科 外科、消化器内科
 施用者 _____

1 投与薬剤名、投与量、投与方法

投与薬剤名	投与量	投与可能量 (mg)	溶解、希釈液	投与方法
① イメンド	1セット(3日分)			CPT11開始1時間以上前に、1日目を服用
② 生食	250mL			血管確保とフラッシュ
③ デキサート	6.6mg/2mL (2A)		混注	15分かけて点滴静注
③ グラニセトロン バッグ	3mg/50mL (1袋)			
④ ペバシズマブ	5mg/kg		生食100mL	特記事項参照
⑤ イリノテカン	100mg/m ²		5%糖250mL	2時間で点滴静注
TS1	80~120mg/day			1日2回朝、夕 2週間連日服用、2週間休薬

2 投与方法の図式

時間 (hour)	1	2	3	4	5
① イメンド	↓				
② 生食				→	
③ グラニセトロンなど	→				
④ ペバシズマブ	→	→			
⑤ イリノテカン				→	

3 投与スケジュール

1クール28日間。ペバシズマブ、イリノテカンは2週毎。TS1は2週間連日服用、2週間休薬。

4 特記事項

- ・ ペバシズマブは初回90分で投与。忍容性が良好であれば60分、その次は30分まで短縮可能。
- ・ TS-1は1日目の夕食後から開始。
- ・